

医労連速報2014秋闘

2014年10月21日 NO. 1 東京都台東区入谷 1-9-5 日本医労連 tel 03-3875-5871

2014 秋闘アピール



生活、医療・社会保障まもるたたかいを職場から強め、安倍政権を追い詰めよう！！

「いのちまもれ」と日本医労連 2014 年秋のキャラバン行動が 9 月 6 日からスタートし、全国で取り組みが展開されています。安倍政権が通常国会で強行成立させた「医療介護総合法」の具体化を阻止するための自治体要請強化と、病床機能報告の状況や施設の現状把握のための懇談も重視したキャラバンです。医療・介護・福祉労働者の大幅増員、夜勤・長時間労働の規制と合わせ、人間として健康で文化的に生きる権利の実現を求めて、国民的共同を大きく広げる時です。

目玉人事だった女性閣僚の辞任、経済政策破綻など安倍政権の屋台骨がぐらつき始めています。しかし、大企業とアメリカの利益のみを優先し、国民から総収奪をはかる強行姿勢を安倍政権は変えずに固執しています。今臨時国会では労働者派遣法の大改悪、来年には医療・介護をはじめとする社会保障大改悪の具体化と労働法制の大改悪、そしてさらなる消費税増税を狙っており、こんなことを許せば国民生活は破綻してしまいます。

国民にわずかの期待感があったアベノミクスは、大企業にとってはこの 1 年の内部留保を約 15 兆円増やす一方、国民には多少の賃上げも効果なく、消費税負担等による物価高で実質賃金は 8 月時点で前年比 3.1%減少し、現在 14 ヶ月連続ダウンになっています。14 春闘の結果は、連合 4,157 円・1.74%、国民春闘共闘 5,739 円・2.02%に対し、日本医労連は 5,205 円・2.06%となりました。組合員の生活実態と生計費原則を要求の基本に据え、ベアによる賃金改善を求め粘り強くたたかった成果です。一方で、医療・介護・福祉労働者の低賃金実態もあらためて突き付けられ、賃金要求の重要性が明らかになりました。

14 秋闘は、14 春闘の成果を引き継ぎ、15 春闘につなげるこれまで以上に重要な意味をもちます。経営者は消費税増税や診療報酬マイナス改定の影響による経営悪化を理由として回答を渋ることが予想されますが、政府・厚労省の悪政のつけを職員の人件費に押し付けるこの悪循環を断ち切らなければ改善はあり得ません。切実な生活・職場実態を突き付け、まともな賃金・人間らしく働き続けられる労働条件を声を大にして要求し実現しましょう。そのためにも、秋闘要求書と日本医労連統一要請書を 10 月 24 日までに提出し、絶対引かない決意を示してストライキ準備を行います。産別・地域に結集して秋闘をたたかうことで、安倍政権の悪政にストップをかけましょう！

2014年10月21日

日本医労連中央執行委員長 中野 千香子